

## きのうの新聞

夫 ちよつと、お前、きょう、きのうの新聞をくれと言つたあの客にはもう新聞を渡してやったかね？

妻 ええ、もう差し上げましたけど。

夫 きのうのをか？

妻 いいえ、きょうのを。

夫 あのなあ、あの客はきのうの新聞を欲しがっていたんだぞ。

妻 きのうのはなかったから、きょうのをあげたのよ。

夫 いつ？

妻 きょう。きのうのは、あした差し上げるとあのお客さんに約束したわ。

夫 私もだ。だからお前はきのうのを取り寄せる必要はないぞ。私がそれを用意するから。

妻 きのうのはもう取り寄せられませんよ。新聞社にも、もうないんです。あのお客さんはおとこのを取り寄せるしかないでしょう。

夫 おとこのじゃ、役に立たないだろう。

妻 でも、もし古い新聞が欲しいのなら、おとこの方がきのうのよりもっと古いわ。

夫 お前の考えることといつたら！ きのうの新聞には何か、おとこのには載つてなかったもの、もちろんきょうのにも載つてないような何か載つていたのかもしれないだろ。

妻 ええ、そうね。お客さんもそんなこと言っていたわ。きょうのを買って、こう言つたの。「あーあ、これには載つてないな」おそらくきのうのには載つていたんでしょう。それが何なのかは、言わなかつたけれど。

夫 それなら、きのうのに載つていたのは確実だ。

妻 何が？

夫 あの客がきょうので探していた何かが。

妻 私はそうは思わないわ。ああいうことって新聞にまるで載らないことが多いもの。

夫 どんなことを言つてるのだ？

妻 だから、つまり、ああいう秘密めいたことよ。

夫 お前は どうしてあの客が秘密めいたことを探してると思うんだね？

妻 だって、もし秘密にするようなことでなかったら、何を探してるのか私に話すはずでしょ。

夫 ウェアス・エア・スリーフト あの客が探していること！ ウォーターズリーフト 水腫症！ 水腫症は秘密めいたこと

とでも何でも無いぞ。ただの病気じゃないか。もちろん新聞に治療法が出ることもあるがね。それは、あしたの新聞に載るかもしれない。

妻 あしたの新聞は、きょうはまだないわ。

夫 でも、あしたにはきょうのがある。

妻 でも、あの客さんはきのうのが欲しいのよ。

夫 もう、お前にかかっちゃ、こつちが混乱してくるよ。あの客はきのう来たんだ、きょうじゃない。で、きのう、きのうのをくれと言ったんだ。だから、つまり、おとこのだ。

妻 いいえ！ お客さんはこう考えただけよ、きのうのに載っていないとすれば、おとこのに出てるかもしれないって。

夫 お前はわかってないんだな！ あの客があした来て、きのうの新聞をくれと言ったのなら、きょうの新聞がきのうのなんだ。きのうのがおとこのなんだ。でも、実際は、おとこのがきのうのだったんだ。わかったかい？

妻（どなる） いいえ、ちっとも。

夫（怒って） まあ、たいしたことじゃない。あの客は、それが載っている新聞ならいいのだから。

妻 それなら、おとこのを見なければならぬわ。

夫 おとこのにはそれが載っているのかい？

妻 私は知らないわ。あのお客さん自身だって知らないのよ。

夫 本人も何が載ってるか知らないのなら、私たちがどうやってそれを知るんだね。

妻 ご本人はもちろん、何が載っているはずかは知ってるわ。ただ、それがどこに、どの新聞に載っているのか、それを知らないのよ。私にはこう言ったわ、きのうのには……あの、ちよっと、そのお客様 あなた、あのお客さ

んよ。 あとう、お客様がお探しの記事が載っているはずのきのうの新聞は申し訳ありませんがもう手に入らないんです。

**客** ああ、構いませんよ 私はまだ、動物園の入場料を知りたかっただけですから。